

モスクとは

説明： イスラームにおけるモスクの役割について。

より [アーイシャ ステイシー](#)

掲載日時 03 Mar 2014 - 編集日時 26 Jul 2020

カテゴリ： [記事](#) > [崇拝行為とその実践](#) > [「実践の五ヶ条」とその他の崇拝行為](#)



モスクとは、ムスリムたちが神を崇拝する建物のことです。モスクはイスラームの歴史を通して、コミュニティ 市街地形成の中心であり続けてきました。現在、特にムスリム諸国において、モスクはどこの街角でも見つけることが出来る程ありふれており、一日5回の礼拝への合同参加が容易になりました。欧米におけるモスクは、勉強会やコミュニティ サービスを提供するイスラーム センターの必要不可欠な部分を構成しています。

モスクにはあらゆる形と大きさがあります。それらは、特定の地域のムスリム人口の大きさに比例して異なる形となる傾向にあります。ムスリムたちは過去 現在に関わらず、地域の職人や建築家に依頼し、美しく立派なモスクを造り続けてきたのです。

しかしながら、すべてのモスクに共通している部分もあります。すべてのモスクには、ムスリムが礼拝を捧げる方向であるマッカの方角を示す壁のくぼみ「ミフラブ」が備えられています。また大半のモスクには、イスラーム学者が説教やスピーチをする説教壇「ミンバル」があります。

その他の一般的な特徴として、人々を礼拝へと呼びかける塔「ミナレット」もあります。ミナレットは非常に人目に立ち、たびたびモスクと同一視されます。また、中には通常長方形あるいは四角形の礼拝所があり、支柱に支えられた平らな天井、あるいは水平の梁に支えられたアーキトレーブが一般的です。モスクのデザインとして他にも一般的なものとしては、[穹隅ドーム構造](#) [1](#) があります。また通常、男女別の入口によって分離された礼拝室があります。

モスクは過去 1400 年の間、顕著な発展を遂げてきました。それらの多くは、元々は礼拝前の洗浄のために備えられていたプールや噴水のある中庭によって彩られます。現代においては、個室の手洗い場やトイレ施設が備わっているのが一般的です。元来は土間の単純な構造でしたが、現在のモスクは通常はカーペットによって床が覆われています。それらは殆どの場合、ムスリムたちが一日5回の礼拝時に真っ直ぐ並列に立つことを助ける、直線的な幾何学デザインが織り込まれています。

モスクには肖像画や彫刻が見られることは一切ありません。イスラームにおいては、そ

れらが禁じられているためです。時にモスクの内壁は、アラビア書道によるクルアーンの章句や、精密な幾何学デザインによって装飾されています。それらの様式は、モザイク模様、化粧しっくい、天然石、セラミックス、木材などの様々な材料によって造られています。より伝統的なデザインはアラベスクとして言及されるもので、それらは代表的に環状もしくは星型を形取る、放射状の格子の形式を取ります。また双方同時に使用されるもの、あるいは3次元的なデザインもあります。

大抵の場合、乾燥した砂漠の国々においても、モスクは涼しく、静かな安息の場を提供します。誰でもモスクに入ると、その人は押し合いへし合いのせわしない物質的世界の喧騒を去り、穏やかな憩いの場に避難するのです。モスクは崇拜の家でもあります。男性は合同で一日5回の礼拝を捧げることを勧められています。女性もモスクで祈ることは歓迎されますが、彼女たちは家で礼拝をすることがより好ましいとされます。どちらにせよ、ムスリムたちはトイレや墓地などの不浄と見なされる場所以外であれば、どこでも礼拝することが出来ます。預言者ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）は言いました。「私には、大地の全てがマスジドとされたのだ。」[2](#)

マスジドとは、アラビア語でモスクのことです。モスクという言葉は具体的に礼拝堂の建物を指す言葉になっていますが、マスジドという言葉は複数の意味を保ち続けています。

非常に逐語的な意味として、マスジドには「額ずきの場」という意味があります。アラビア語のマスジドは「額ずき」を意味する「サ ジャ ダ」という語根から来ています。ムスリムの額が地面に付くと、その人物は神により近づきます。礼拝は、信仰者とその主とのつながりを確立し、額ずきは完全な服従行為を象徴します。

多くの人々は、「モスク」が「マスジド」の翻訳ではないと間違った主張をします。彼らはモスクという言葉がモスキートという、イザベラ女王とフェルナンド王の時代の15世紀スペインの単語に由来すると主張します。しかしながら、モスクとモスキートは全然関連性のないものです。

「モスク」という言葉は14世紀末または15世紀初頭に、フランス語から英語に導入されたものです。それは古フランス語の *mousquaie* が変化した *mosqu é e* というフランス語に由来します。さらに、そのフランス語はイタリア語の *moschea* から派生しています。そのイタリア語は直接アラビア語のマスジドから、あるいは古スペイン語の *メスキータ* から借用した言葉です [3](#)。

このように、マスジドというアラビア語が、英語のモスクになったということを知ることが出来ます。

モスクとは礼拝の家、そして額ずきの場であるのです。それは、アッラーを崇拜するために特別に設計され、建築された建物です。そこでムスリムたちは肩を並べて立ち、神への愛情と、神をご満悦させようとの意思のもと、一致団結するのです。

Endnotes:

[1](#)

穹隅（きゅうぐう）またはペンデンティブ（pendentive）は、球形のドームを正方形の部屋の上に置いたり、楕円形ドームを長方形の部屋の上に置いたりするための建築構造。

[2](#)
サヒーフ ブハーリー。ここでの「私」は「私の国家」を意味しています。

[3](#) The American Heritage Dictionary of the English Language, Fourth Edition; © 2000 Houghton Mifflin Company.

Online Etymology Dictionary, <http://www.etymonline.com/m8etym.htm>

この記事のウェブアドレス：
<http://www.islamreligion.com/jp/articles/2748>

Copyright © 2006-2015 www.IslamReligion.com. All rights reserved.